企画事例レポート

ADDOSHIN +PLUS

Vol.037

«地域型住宅融資企画»

オホーツクエリアの住まいづくり支援について発信

北海道新聞札幌本社発の広告企画ですが、オホーツク管内でこのような金融対談は過去になく、北見支社としてもやりがいのある企画でした。企画提案先の**住宅金融支援機構では、「自治体の施策に寄り添う住まいづくり支援」を主なテーマとして、小澤北海道支店長と金田北見信金理事長との対談を検討**してくださいました。

（2019年2月28日 朝刊 北見版 全15段）

お二方には、**自治体が掲げる補助金の概要や、それに関わる協定について対談**していただき、その内容を北海道新聞社で記事体広告として制作。**子育て世帯や移住者でマイホーム取得を検討している方への訴求**を図りました。

企画紙面では、オホーツク3町（雄武町・置戸町・滝上町）の補助金制度と、住宅金融支援機構がこの3町と結んでいる、「【フラット35】子育て支援型・地域活性化型」に係る協定やプランについて、記事体広告と純広告とを連動させて大きくPR。商品メリットの紹介部分では**具体例を挙げて読者に分かりやすく解説**するようにしました。

オホーツクとともに「住みたくなる、価値あるまちづくり」へとつなげていく、住宅金融支援機構の地域に寄り添う姿勢を広く読者に発信することができたと思います。

（北見支社営業部 村田 孝二）

POINT!

＊**自治体との協定や、各地域での支援について、北海道新聞で広く分かりやすい発信が可能**です。